

つながりは、いつもここに



Business Report 2021

鎌倉新書の目指す世界

わたしのため、家族のため、より良い人生のために…「終活」



※印の付いたサービスにつきましては現在準備中です。

ビジネスモデル

安心できる優良事業者の紹介



トップメッセージ

高齢社会が進むわが国で需要がますます増える領域＝終活。

「終活のインフラ」企業として必要なすべてのサービスを提供してまいります。



代表取締役会長CEO

清水祐孝

代表取締役社長COO

小林史生

新経営体制スタートのご報告

■**清水** 当社では、今後のさらなる事業の成長、また経営基盤の強化及び企業価値の向上を図ることを目的とし、2020年4月開催の取締役会の決議を以って、私が代表取締役会長CEOに、代表取締役社長COOには小林史生が就任いたしました。私はこれまでの会長兼社長という役割から、今後は中長期の会社の在り方や戦略を担うことに力点を置き、現状における全事業及びマーケティングの実務・戦術の管掌を小林社長が担っています。

■**小林** 当社では昨夏に清水会長によるディレクションの下、これからの超高齢社会におけるコロナ禍を契機としたNew Normal時代の到来へより則す形で、経営の大きな方針であるミッション・ビジョンの再設定を行いました。私なりの表現で申しますと、「どの山に登るか」は明確になった訳ですから、そこに対してどの道をどうやって登っていくか、実務の部分で言えばどの道が最短で効率的かなどを、清水会長としっかり議論し進めていきたいと考えています。また、現場最前線の社員一人ひとりの皆さんと一緒に目指す山の頂きを目指せるよう、全員を同じ方向に向かわせることも私の重要な役割だと認識しています。

2021年1月期の振り返り

■**清水** 高齢者の方々、またそのご家族を対象とした事業を行っている当社にとって、2020年の春ごろからの新型コロナウイルス感染症の影響は当初、大変厳しいものがありました。特に、コロナ禍が本格的に拡大し始めた上半期は、主力である葬祭/お墓/仏壇事業の全てにおいて一時的に需要が激しく落ち込み、営業損失の計上を余儀なくされました。

一方、下半期に入ってから、未知のウイルスに対する知見も少しずつ高まり、防疫対策が世間に浸透する中、お客さまの需要も徐々に回復基調を辿り、結果として2021年1月期トータルでは、前期とほぼ同レベルの売上を確保し、しっかり

と黒字に戻すことができました。また、2019年4月からスタートした相続事業につきましては、四半期単位で見ますと第1四半期の29百万円から第4四半期には90百万円にまで売上が拡大し、順調に成長が果たしていることを付け加えさせていただきます。

■**小林** 今回のコロナ禍が業績面に多大な影響を与えたのは事実ですが、他方、事業を今一度見つめ直す良い機会になったのではないかと捉えています。換言すれば、お客さまは何を求めている我々は何を売ろうとしているのか、というところ です。

葬儀が終わった後の相続の煩わしさや不明瞭さに関するお客さまの声を聞き、当社では相続を事業とさせて頂きました。当期から新たにスタートした介護、保険、不動産といった事業も、相続の中でのお客さまのニーズから生まれたものです。そのような意味においては、コロナ禍により確かに苦しい一年ではありましたが、お客様にとって必要なサービス、お客様の声から出てきた事業をしっかり和育むことができた一年だったと考えています。

鎌倉新書の目指す姿

■**清水** わが国は世界で最も高齢化が進んだ社会です。今後も人口の減少が続く中で高齢化率は上がり続け、2065年には国民の約2.6人に1人が65歳以上になる社会が到来すると推計されています。社会における高齢者の割合が増え、また平均寿命もじわじわ伸びていく中で、社会保障費の膨張や単身世帯の増加など、さまざまな社会課題が浮き彫りとなってきています。これらはいずれもわが国が直面する大きな課題であるとともに、このような社会構造の変化が生み出す消費者のニーズもまた膨大であることは論を待ちません。当社ではここに大きな事業の機会が存在しているという強い認識のもと、社会課題の解決と企業の発展のためのチャレンジを続けてまいり所存です。

今日まで当社は、シニア向けのサービスを広げながら成長させて頂いてきました。我々の道程と世の中の方向性は非常

に親和性が高く、これからの国・社会を支える重要な取り組みの一端を積極的に担っていきたいと考えています。そしてこのような強い決意の下、我々は終活を、「人生の終わりに向けて前向きに準備することで、今をよりよく生きる活動」と定義付けした上で、「超高齢社会の進展に伴って、世の中の多くの人や家族が直面する希望（やりたいこと）や課題（やらなくてはならないこと）や備え（やっておきたいこと）など、ありとあらゆる『終活』のお手伝いをする社会のインフラとなる」、ことを目指していく旨を株主の皆さまにコミットいたします。

目指す姿へ向けた中期経営計画の展開

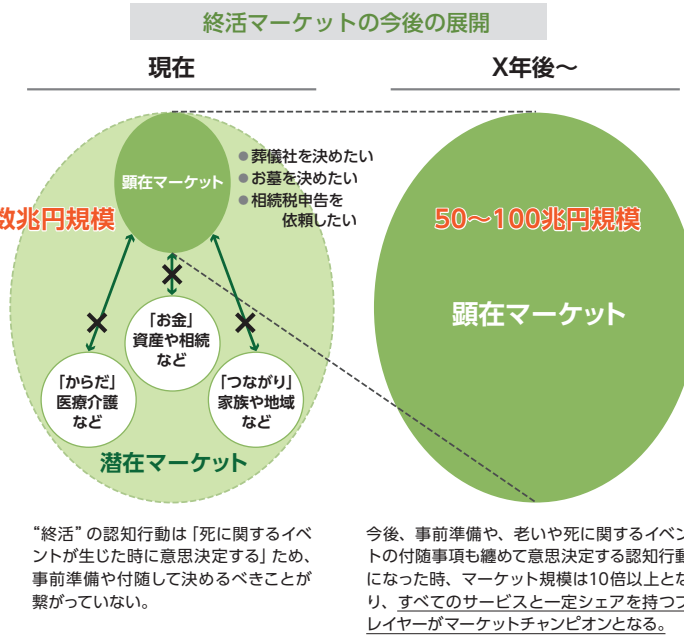
■清水 上場企業である以上は、株主・投資家の皆さまにしっかりと報いていかねばならないと考えています。但しその報い方も、短期的な目線ではなく、先にご説明したような国家的テーマ・社会課題が眼前に広がっている中で、そこをこれからの事業に組み入れていくことで中長期的に報いていきたい、これが基本的な考え方です。このような考えを一つの背景としながらこのたび当社では、2030年度に延べ集客数100万人/売上高300億円程度/営業利益100億円以上、をターゲットとした中期経営計画を公表させていただきました。当中計においては、①終活領域の「サービス拡充」、②大手金融機関や自治体などシニア層とリアルな接点をお持ちになっている方々との提携活用による「集客数の拡充」、③お客さまに最適な複数のサービス提供による「クロスユース拡充」を重点政策としながら、10年先に向けて会社を健全に大きく発展させていきたいと考えています。

■小林 冒頭の当期振り返りの中で「お客さまの声を聞くことの重要性」を強調しましたが、10年後の2030年へ向けた当中計の下においても、その姿勢は変わることはありません。お客さまの声をひたすら聞いてお客さまのニーズ解決を最重要視しながら、それをサービスとして担って事業者さまにお繋ぎし、ビジネスとして落とし込んでいく。またそれとともに清水会長から

説明のあった3つの重点政策へ取り組んでいくことにより、結果として売上利益は必ずやついてくるものと考えています。

株主・投資家の皆さまへのメッセージ

■清水 私たち鎌倉新書の立ち位置である終活マーケットは、他の業界にありがちなプレイヤーがひしめきあってシェアを奪い合っているような世界とは全く違って、明らかに成長していくマーケットでしかもプレイヤーはひしめきあっていない、という一種特殊な環境にあります。当社としてはとても良い立ち位置が得られていると思われ、終活インフラとして思い切った施策で中長期的に成長していきたいと考えています。株主の皆さまにおかれましては、ぜひ中長期的な視点で見守っていただけますようお願い申し上げます。どうぞこれからの鎌倉新書の展開にご期待ください。

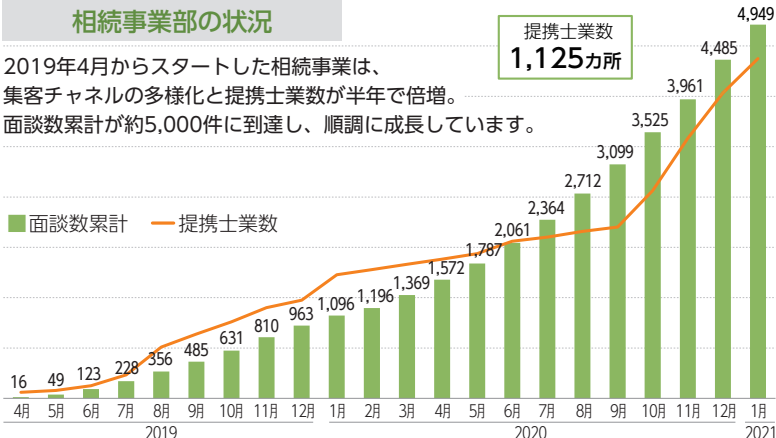


いい相続 — 死後・葬儀後の手続きをワンストップでサポート

死後・葬儀後の手続きをワンストップでサポートする「いい相続」を2019年4月より開始しました。死後の手続きについてのお困りごとを専門相談員が解決に向けてお手伝いします。

サービス立ち上げ以来、面談数は着実に増加し、当初予想を大幅に上回る速度で成長を続け、売上237百万円を突破しました。

既存サービスからの顧客増に加え、今後はアライアンス・オフラインイベント・WEBからの顧客増加も見込まれます。



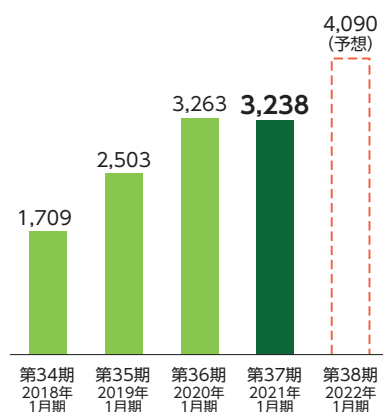
決算ハイライト

決算のポイント

- 上期は赤字計上一方で下期は黒字転換に奏功し、また通期売上は前期レベルを確保しました。
- 既存事業の各売上高は、前期比お墓：0.5%増、葬祭：15%減、仏壇：0.7%増となり、葬祭以外の事業は過去の成長トレンドラインに回帰しつつあります。
- 前期スタートの相続事業は急成長を継続し、前期比160%増の売上を達成しました。

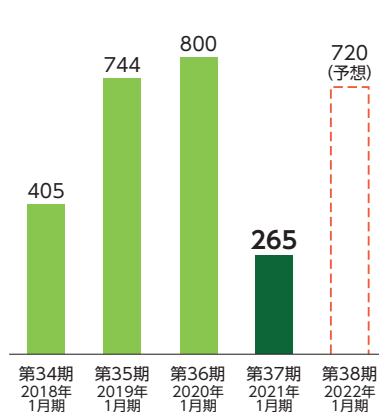
売上高

(百万円)



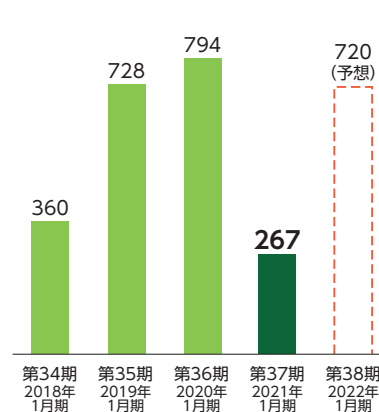
営業利益

(百万円)



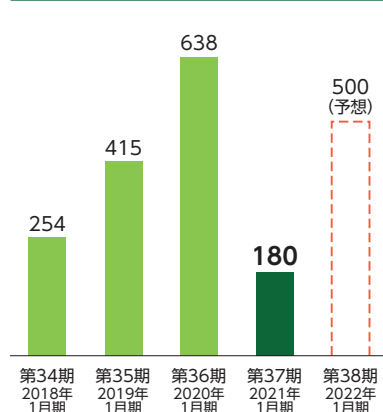
経常利益

(百万円)



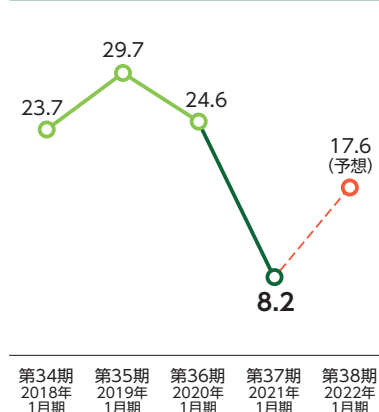
当期純利益

(百万円)



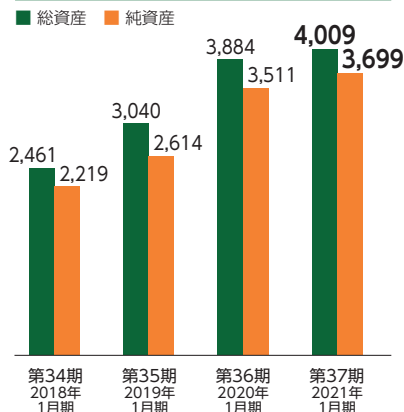
営業利益率

(%)



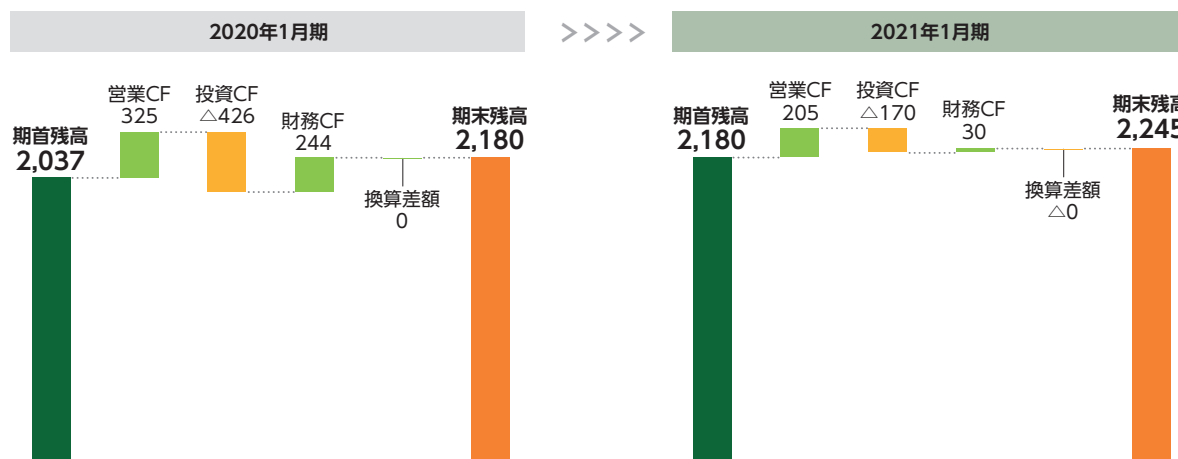
総資産・純資産

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



詳細な財務情報はここからご確認ください → <https://www.kamakura-net.co.jp/ir/finance/index.html>

会社概要・株式の状況 (2021年1月31日現在)

会社概要

商 号 株式会社 鎌倉新書
Kamakura Shinsho, Ltd.
本 社 所 在 地 〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目14-1
兼松ビルディング3階
電 話 番 号 03-6262-3521 (代表)
創 業 1984年4月
従 業 員 数 139名

役員 (2021年4月23日現在)

代表取締役会長 CEO 清 水 祐 孝
代表取締役社長 COO 小 林 史 生
社 外 取 締 役 余 語 邦 彦
社外取締役 (監査等委員) 河 合 順 子
社外取締役 (監査等委員) 植 松 則 行
社外取締役 (監査等委員) 鴫 田 英 之

沿革

1984年 4月 株式会社鎌倉新書設立。
1986年 8月 中央区日本橋浜町に本社を移転。
1998年 6月 中央区日本橋久松町に本社を移転。
2000年10月 全国の葬儀社検索、お葬式のマナーや葬儀に関する情報サイト「いい葬儀」を開始。
2001年 6月 「月刊『仏事』」創刊号発売。
2003年12月 霊園・墓地・お墓さがしの総合サイト「いいお墓」を開始。
仏壇と仏壇店さがしに関するサイト「いい仏壇」を開始。
2008年10月 全国「優良」石材店と霊園さがしのサイト「優良墓石・石材店ガイド」を開始。
2010年 1月 「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」プロジェクト始動。
6月 お通夜・葬儀・法事の際の生花・胡蝶蘭を当日配達できる販売サイト「供花・胡蝶蘭net」を開始。
8月 中央区日本橋大伝馬町に本社を移転。
2014年 4月 中央区日本橋本石町に本社を移転。
7月 ヤフー株式会社の新サービス「Yahoo!エンディング」サービスを開始。
8月 新しい形のお墓を無料で簡単に探せるサイト「樹木葬なび」と「納骨堂なび」を開始。
10月 終活・ライフエンディングに関する総合情報サイト「終活情報局」を開始。
2015年12月 東京証券取引所マザーズに上場。
2016年10月 中央区八重洲に本社を移転。
2017年 7月 東京証券取引所市場第一部に市場変更。
2019年 9月 中央区京橋に本社を移転。
2019年12月 経団連加盟。

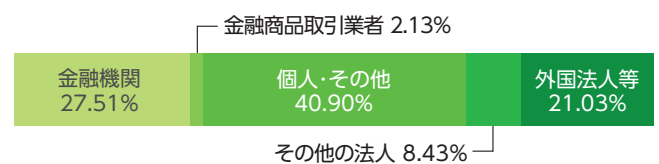
株式の状況

発行可能株式総数……………96,000,000株
発行済株式の総数……………38,781,600株
株主数……………7,456名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
清水 祐孝	11,383,944	29.4
株式会社かまくらホールディングス	3,200,000	8.3
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,895,600	7.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,144,900	5.5
株式会社SMBC信託銀行管理信託 (A019)	1,600,000	4.1
株式会社SMBC信託銀行管理信託 (A020)	1,600,000	4.1

所有者別株式分布状況



株主メモ

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第一部
事 業 年 度 2月1日から翌年1月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
基 準 日 1月31日
剰余金の配当基準日 7月31日、1月31日
1 単 元 の 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事 務 取 扱 場 所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取 扱 所 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.kamakura-net.co.jp/>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

つながりは、いつもここに

